

私たちのすんでいる町を私たちの手できれいにするには、どうしたらよいか。それには私たちはひとりが、注意していく



佐久間智子

大統小五年

なければならぬと思ふ。あちらこちらにゴミやあきかんを捨てないで、くずかごに捨てたり、気がついてゴミを見つけたら拾つてくずかごに捨てる。そういう一人ひとりの気持ちがたいせつだと思ふ。

町をきれいにするために

思ふ所にくずかごがなくては、捨てる人もこまつてしまふ。だからところどころにくずかごをおいてほしい。なかつたら自分で、くずかごがある所で捨ててほしい。

私たちの手できれいにするには、どうしたらよいか。それには私たちはひとりが、注意していく

なければならぬと思ふ。あちらこちらにゴミやあきかんを捨てないで、くずかごに捨てたり、気がついてゴミを見つけたら拾つてくずかごに捨てる。そういう一人ひとりの気持ちが悪いといふ人がふえてほしいと思う。でもいくらそういう人がふえても、捨てようとなればならないと思ふ。あちらこちらにゴミやあきかんを捨てないで、くずかごに捨てたり、気がついてゴミを見つけたら拾つてくずかごに捨てる。そういう一人ひとりの気持ちが悪いといふ人がふえてほしいと思う。でもいくらそういう人がふえても、捨てようとなればならないと思ふ。

折目正しいあいさつ、部屋での樂

町、すつきりした自然の町にしたいくと思う。小さなゴミでも落ちていると気持ちが悪いといふ人がふえてほしいと思う。でもいくらそういう人がふえても、捨てようとなればならないと思ふ。あちらこちらにゴミやあきかんを捨てないで、くずかごに捨てたり、気がついてゴミを見つけたら拾つてくずかごに捨てる。このようにやふくろがたまり、くさりきつている。このようなことは、町をきれいにはできない。私も何度かめんどうくさくてその場に捨ててしまつたことがある。自分の家でも庭に捨ててしまつて、母に注意されたことがあった。店へ行くときりかえしていれば、いつかはゴミ一つないきれいな町になるだろう。

私たち、みんなで力を合わせて気をつけていけば、ゴミ一つないきれいな町、気持ちのよい町になるだろう。

自慢あれこれ

(11) ピアノ

井上康子ちゃん(鳥喰新田・8歳)



町民のひろば



てらいのない善意を

藤代ゆう(古川)

しいおしゃべり、また、運動会で

八月三日、わたしたち婦人会常

任委員一同は、成東町中央公民館

で行われた「ボランティア一般養

肩を組んで二人三脚をし、手を取

成講座」を受講しました。

り合つてのダンスに、生徒達は全

身で喜びを表していました。高校

生達の純真なボランティアによつ

て、生きる喜びと感動を味わつた

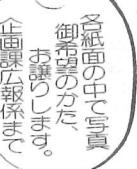
のでした。

習い始めたのは昨年十一月。先生が驚くほどの上達ぶりで、今では曲目も多く、比較的むずかしい曲もこなせます。

初めて参加した公民館の発表会では、緊張し、弾き始めは手がふるえましたが、終つてから先生が「じょうずでした」とほめてくれました。

施設の中で外部と遮断されて、不自由な心身に鞭打つて、人間らしく生きようと懸命の努力を続けている生徒達は、外部との交流を渴望しているとのことでした。そして、東金高校生グループの施設ボランティアが映写されました。

ふりかえってみますと、わたし達の地域にも、こうした交流を求めている方がいらっしゃると思います。この方々に、わたし達婦人の心からの助け合いの手をさしあげようではありませんか。



てらいのない善意を

藤代ゆう(古川)

しいおしゃべり、また、運動会で

八月三日、わたしたち婦人会常

任委員一同は、成東町中央公民館

で行われた「ボランティア一般養

肩を組んで二人三脚をし、手を取

成講座」を受講しました。

り合つてのダンスに、生徒達は全

身で喜びを表していました。高校

生達の純真なボランティアによつ

て、生きる喜びと感動を味わつた

のでした。